

令和6年9月27日

八戸学院大学・八戸学院大学短期大学部共催「令和6年度 IR セミナー」報告書

八戸学院大学・八戸学院大学短期大学部 IR 推進室

室長 村本 卓

副室長 野口 和也

1. 日 時：令和6年9月27日（金）10：30～11：30
2. 場 所：八戸工業大学メディアセンター会議室
3. 出席者：八戸工業大学教職員 8名
4. 目 的：国の施策「2040年に向けた高等教育のグランドデザイン」に基づき、3つのポリシーを基盤とする教育・研究の質保証が求められている。また、18歳人口が大きく減少する中で「選ばれる大学」となるために、教学マネジメントの構築が急務となっている。それらを支援する IR 活動について、学修時間や教育の成果等への繋がりを考える機会として開催する。
5. 内 容：

(1) レクチャー1：「ルーブリック評価による学修成果の可視化」（村本 IR 推進室長）



八戸学院大学では、学生の学修成果の可視化や学修等の動機付けのために、学修評価の観点・基準を定めたルーブリック評価を令和3年度から実施している。今回のセミナーでは、ディプロマ・ポリシーからルーブリック作成の経緯、評価方法、実際の運用状況、教学改善への活用について紹介を行った。

(2) レクチャー2：「IR情報による八戸学院大学短期大学部の教育課程の検証について」

(野口 IR 推進室副室長)



八戸学院大学短期大学部では、教育課程について「学生の学ぶ意欲・姿勢」{教育の質}「学修成果」の3つの領域について、卒業時アンケート、GPA、就職先からの評価等複数の IR 情報を用いて分析し、根本的な問題がないと判断できた場合、教育課程の適切性が担保されると結論づけている。今回のセミナーでは、具体的にデータ分析結果を示しながら検証を行った事例を紹介した。

(3) 意見交換：



八戸工業大学様では、学修成果を評価・分析するために、ディプロマ・ポリシー等を踏まえた大学独自の「20の修得因子」を評価指標として設定している。システム化への課題や教員が学生を評価することの難しさなどについて意見交換を行った。

以上

令和6年度 IR セミナーの開催について

・目的

国の施策「2040年に向けた高等教育のグランドデザイン」に基づき、3つのポリシーを基盤とする教育・研究の質保証が求められている。また、18歳人口が大きく減少する中で「選ばれる大学」となるために、教学マネジメントの構築が急務となっている。

それらを支援する IR 活動について、学修時間や教育の成果等への繋がりを考える機会として開催する。

・日時

令和6年9月27日（金） 10：30 ～11：30

・開催方法

対面（八戸工業大学メディアセンター会議室）及びオンライン

・スケジュール

◆開会

◆レクチャー1

「ルーブリック評価による学修成果の可視化」

八戸学院大学 村本 IR 推進室長

◆レクチャー2

「IR情報による八戸学院大学短期大学部の教育課程の検証について」

八戸学院大学短期大学部 野口 IR 推進室副室長

◆意見交換

◆閉会